平成 28 年 6 月吉日

工学院大学

機械系同窓会　各位

一般社団法人工学院大学校友会
機械系同窓会会長　田中英生

平成 28 年度　機械系同窓会「活躍する OB の報告会」開催について(ご案内)

拝啓、初夏の候、皆々様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃より同窓会活動、校友会活動に対し多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、工学院大学機械系同窓会の**「活躍する OB の報告会」**は、毎回好評で、今年 11 回目を迎え新宿キャンパスにて下記により開催いたします。

本年度は、1964年機械工学科卒業の笠原又一氏に講演をお願いしました。笠原又一氏は現在、国際標準化機構(ISO)国際議長としてご活躍中です。

報告後は、懇親会を開催いたしますので皆様方にはご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。　敬具

記

1. 日　時　　平成28年7月9日(土)　17:00～20:00 (受付は16:30～)

2. 場　所　　工学院大学新宿キャンパス　高層階 28階　　第一会議室

(懇親会は28階第一会議室前ロビーで開催します。)

3. 開催内容

① OBの報告　　17:00～18:20

演 題　　「国際標準ISOはどのようにつくられるか」

(国際規格制定の現状と日本の戦略)

講演者　　ISO国際議長　笠原　又一　氏

1964 年　工学院大学機械工学科卒業
オイレス工業㈱特別顧問(ISO/TC123/SC6 国際議長)

② 懇親会　　18:30～20:00(中締め)

4. 会　費 (懇親会費)　　3, 000円 (ただし、学生は1, 000円とします)

5. そ の 他

・出欠の返事は準備の都合もありますので**7月3日**までにお願いします。
・返信方法は返信ハガキか E-mail でお願します。
・E-mail 返信先　　E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp(校友会　事務局あて)

平成 28 年度機械系同窓会「活躍するOBの報告会」(7 月 9 日開催)の講演内容

演　題:『国際標準ISOはどのようにつくられるか』

(国際規格制度の現状と日本の戦略)

講演者:　ISO 国際議長　笠原　又一　氏

１９６４年　工学院大学　機械工学科卒業
２００８年　日本滑り軸受標準化協議会　会長
２０１０年　ISO/TC123/SC6（滑り軸受）国際議長

プロフィール
１９９５年　オイレス工業㈱常務取締役・中央研究所長
１９９９年　オイレス工業㈱相談役・免震エンジニアリング社長
２００４年　オイレス工業㈱常勤監査役
２０１０年　オイレス工業㈱特別顧問
２００５年　日本トライボロジー学会　功績賞
２０１０年　経済産業省　産業技術環境局長賞
（第 2 回国際功績賞）

（校友会）　1995 年～1997 年　機械系同窓会　副会長
1999 年～2006 年　校友会湘南支部長
2013 年～　代議員、会誌部会長

工学とくに機械系の仕事を専業とする方々には JIS(ISO)規格の知識は重要である。　機械の設計をする場合は構造部材や締結用ねじあるいは軸受などの機械要素は通常 JIS の標準部材を用いる。これは、設計の効率化及び生産面における材料の入手などに非常に有利なためである。

一般的には、生産者及び需要者の利便を図り工業分野での発展を図ることが標準化の目的であるが、その制定に当たっては企業及び国家としての経済的な利益も絡んでくる。　企業としては国際レベルの製品を世界に普及させる手段として ISO の規格製品であることが有利に働く。　その理由は TBT 協約（貿易の技術的障害に関する協定）の加盟国は自国のすべての国内規格を国際規格に合わせることが求められているからである。　国際規格に適合した製品は TBT 協約加盟国のどこにでも販売（調達）が可能で、追随する企業は先達企業の標準に合わせなければならず費用と時間がかかることとなるからである。これが企業間を超えて国家間となると国際標準に適合しない製品は公共的事業から除外するなどの施策により(見えない関税障壁)貿易収支にまで影響する。　そこで、国際標準化機構 ISO の組織とはどのようなものか、どのようにすれば国際標準化の作業に携わることができるのか、標準化のための審議（JIS 及び ISO 規格の提案・制定）の方法、標準化を推進するための戦略について現状の生々しいやり取りを含めて具体的に説明します。